



恵田小新聞

令和2年

5月

第156号



令和2年度 全校児童 47名 がんばいます！

「あたりまえの日々こそ大切に」

校長 内山 彩由実

四月一日、恵田小学校の校門に立った時のことです。少しずつ開いた桜の花々。輝く緑の山々。そして、春の訪れを告げる優しいウグイスの鳴き声。その瞬間胸に熱いものが込み上げ涙が溢れました。歴史ある恵田小学校の教育は、この豊かな自然の恵み、子供たちを温かく見守って下さる地域の方々の恵みに支えられています。令和2年度、元氣いっぱいの新入生八名を迎え、全校児童四十七名でスタートしました。

四月七日、全校児童四十七名が落ち葉スキー場で記念写真を撮りました。その一人一人の横顔は、新しい学年、新しい先生との出会いに輝いていました。今、世界中の人達が「あたりまえの日々」を取り戻そうと必死で頑張っています。あたりまえの日々がどれだけ大切であり、そしてその中にこそ、感動したり嬉しかったり、悲しかったり悔しかったり、人が成長していくかけがえのない宝物があるのです。子供達のない学校では、日々先生方が恵田っ子達のことを想いながらあたりまえの日々のために頑張っています。限られた時間の中にも一人一人が主人公となつて輝ける舞台が必ずあるはずですよ。そのために、私達恵田小学校全職員は力を合わせ、全力で取り組んでいきます。どうかご支援ご協力をよろしくお願いします。

「PTA会長就任にあたり」

青木 利行

PTA会長を務めさせていただき、六年青木椋太の父、青木利行と申します。前年度は副会長として、PTA活動に初めて参加させて頂き、前会長の小原さんを手伝いながら、一年間過ごして参りました。本年度は会長という大役で身の引き縮まる思いであります。

しかしながら、昨年度末から新型コロナウイルス感染症が流行しており、私たちの生活に様々な影響を与えています。緊急事態宣言も発令され、小学校も休校が続きます、まだまだ終息の見通しも立っておらず、不安な思いで過ごしておられることでしょうか。子供たちも、学校へ行けず友達とも会えず、不自由な生活が続いています。しかし、今はこれ以上ウィルスを広めないよう一人一人が外に行くのをやめ、家にいましょう。以前のような楽しい生活を取り戻すため、できることをやっていきましょう。保護者の皆様や先生方も、急な予定の変更など大変な年ではありますが、子供の心に寄り添ってできる範囲で楽しい学校生活がおくれるように、一致団結して参りましょう。刻一刻と変化する状況に伴い、PTAとしても戸惑うことが多く、皆様のお力添えなしには成し遂げることができないと思っております。どうか保護者の皆様、先生方、学区の皆様のご協力をお願いします。

今年度末には、大変な年だったけれど楽しい思い出がたくさんあったなあと思いつけるような一年間になることを目指し、会長として努力して参りますので、なにとぞ宜しくお願い致します。